ナラ枯れかも！！
情報提供にご協力ください

北海道において、令和5年にナラ枯れ被害が初めて確認されました。
「ナラ枯れ」対策は、被害拡大前の初期対応が重要であることから、ナラ類の被害に関する情報提供をお願いします。

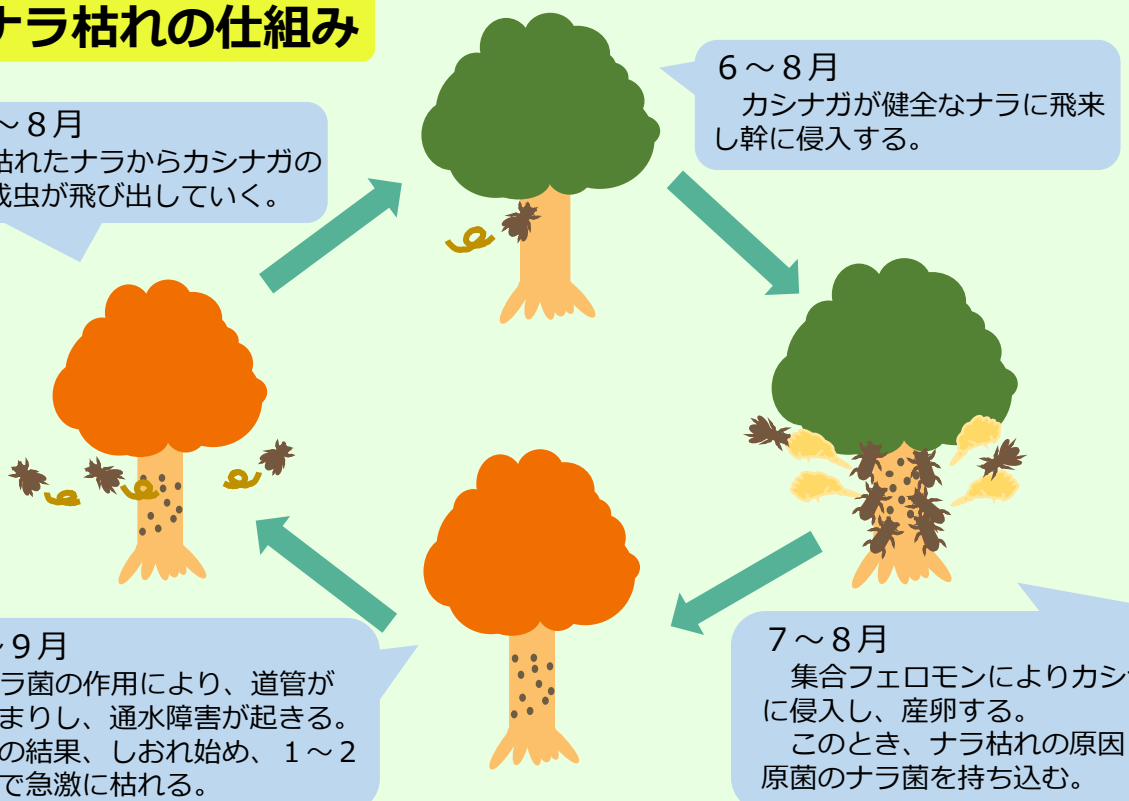
ナラ枯れとは

カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という）が持ち運ぶ病原菌（以下「ナラ菌」という）により、ミズナラやカシワなどのナラ類が枯死する伝染病です。

▲北海道のナラ枯れ被害の様子

▲カシノナガキクイムシ（１円玉と一緒に撮影）

ナラ枯れの仕組み



北海道で被害発生の可能性がある樹種

ミズナラ、コナラ、アカナラ、カシワなどのナラ類、クリ

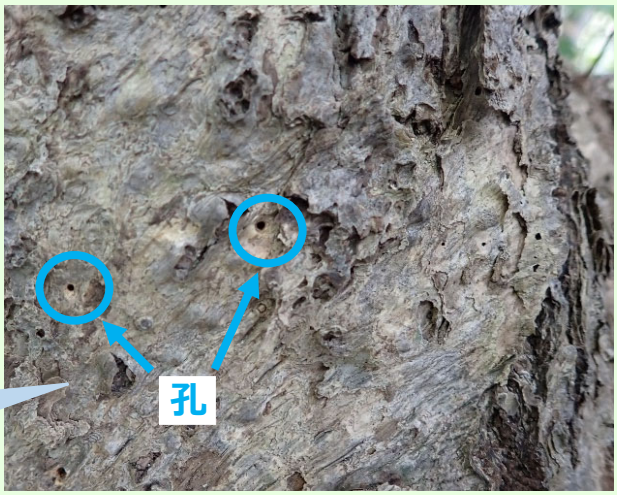
※特にミズナラで被害が激甚となりやすい。ブナは被害を受けない

ナラ枯れの見分け方

８～９月に葉が赤褐色に変色し、枯れる

幹の根元にフラス（木くずと虫糞が混じった粉状のもの）が堆積している

幹に直径1.5mm～2.0mmの孔がある



ナラ枯れ被害木を放置すると、翌年にそこから大量のカシナガの新成虫が飛び出し、周囲のナラを枯らすおそれがあります。

ナラ枯れを発見したら

ナラ枯れの疑いのある木を見かけたら、下記までご連絡をお願いします。

最寄りの(総合)振興局産業振興部林務課森林整備係　又は、

北海道水産林務部林務局森林整備課保護種苗係(011-204-5507)

発行：令和７年９月　北海道水産林務部林務局森林整備課